



## ～コーナーフラッグ～

この度、佐藤公司（前副会長）氏が新会長に就任し、新たな体制が、始動しました。

新会長からメッセージを頂きましたので、コーナーフラッグ特別寄稿として掲載します。

第 528 号

発行:

茅ヶ崎サッカー協会

広報委員会

(Web版 033号)

## 「次の半世紀に向けて、変わらぬサッカーへの想い」

茅ヶ崎サッカー協会 会長 佐藤公司

本協会は、1973 (昭和48)年に創設され、今年度で51年目を迎えています。そして今、100年に向けて新たな一歩を歩み始めています。

50年・半世紀という歩みの中の、その陰に多くの人々のたゆまぬ努力と温かいサポートがあったことを忘れてはなりません。

市内の会社・事業所、地域組織、学校、同好の仲間等々の各組織が、茅ヶ崎にサッカーの土壌を耕し、そこにサッカーの種を蒔いてくれた先輩たちがいました。

サッカーの普及や選手育成・強化に力を注ぐ指導者、審判員、大会運営や草の根サッカーを支える人、温かなサポートを惜しみなく注いでくれる子供達の保護者も忘れてはならない存在です。このように茅ヶ崎サッカーは、多くの皆さんによって支えられています。

日本サッカー協会の目的として、「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献することとありますが、これはまさに普遍であり、本協会にも当てはまります。

新型コロナウイルス感染症に伴うさまざまな制約、閉塞感ある3年間でした。そういう中でも、各カテゴリーのサッカーを続けたいという熱意が協会を支え、停滞することなく事業を推進することができました。これは、茅ヶ崎サッカーマンの皆様の逞しさ、勝負強さなのでしょう。今後は、ウィズコロナの日常の中、配慮すべきは配慮し、今までよりは自由度のある中でサッカーを楽しみましょう。

今年度も、茅ヶ崎サッカー発展の為、ご支援とご協力を賜りますよう宜しくお願いいたします。

### 【基本的方向】

・今まで積み上げてきた実績を基に、組織体制始め改善すべき点を明確に把握し、より安定した信頼性の高い組織運営を構築し、地域社会からの信頼性を更に高めていく。

・年齢・男女問わず、サッカーを愛する全ての人にサッカーを「する」「観る」「語る」喜びを共有し、サッカーを楽しむ文化を創造し、地域に根ざした活動を進めていく。

### 【事業】

本協会は、本市サッカーを統括する団体として、この目的を達成するため、以下の事業を行う。

各カテゴリーでは、環境に合った事業が展開されており、1つ1つの活動に責任を持ち、リスクト・思いやりの精神を忘れず、サッカーができることに感謝し、多くの方々のご協力を得ながら活動を続けて行きたい。

- ①市内各カテゴリーのサッカーチームの組織
- ②サッカー各種大会の開催  
(各カテゴリーの代表チームが参加する大会の開催を含む)
- ③サッカー選手の育成、サッカー競技の普及
- ④サッカーの指導者並びに審判員の育成
- ⑤広報活動
- ⑥関係機関との連携等



【佐藤公司 協会会長】

茅ヶ崎サッカー協会Web広報版

<https://m.facebook.com/茅ヶ崎サッカー協会-816806031781254/>

# 2023年度 サマーカップ

## 2023読売新聞社杯争奪湘南少年サッカー大会 茅ヶ崎市代表予選大会

### 高学年の部

優勝：鶴嶺FC

準優勝：FC松林J

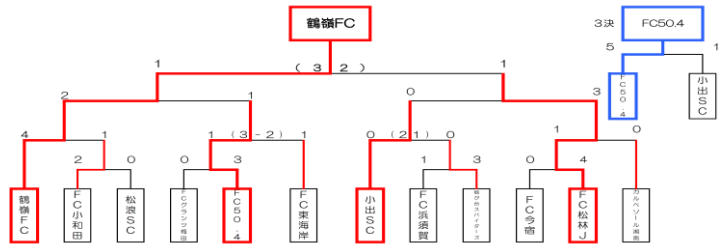
第3位：FC50.4

敢闘賞：小出SC



高学年の部は決勝トーナメント、2日しおさいグラウンドで行われた。決勝は、鶴嶺FC-松林両チーム譲らずの熱戦で1-1のまま延長戦となるが決まらず、PK戦で鶴嶺FCが制した。

【高学年の部】



### 低学年の部 優勝：カルペソール湘南 準優勝：FC東海岸

第3位：FC50.4 敢闘賞：FC浜須賀

6月25日決勝トーナメント実施。決勝は、FC東海岸-カルペソール湘南で、同大会の昨年と同カードとなりました。高学年同様に、0-0と延長戦となるが決まらず、PK戦でカルペソール湘南が、優勝。



【低学年の部】

